

平成 22 年度第 4 回 (通算第 35 回) MT 委員会 議事録

日時: 7 月 16 日 13:30-15:00

場所: 仁科記念棟 2F 会議室 (201 号室)

出席: 酒井(委員長)、久保野(CNS)、上坂(CNS 兼 UEC)、神原、上垣外、若杉、上野、櫻井、延與(オブザーバー)、本林(オブザーバー)、上蓑、加瀬

欠席: 久保、下浦(CNS)、森田、福西、吉田光一(オブザーバ)

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. MT変更

- 一次&二次ビーム調整の遅れの為、NP0702-RIBF17 (小林) MTを3日延長した。これにより実験終了予定は 7/01/9:00 となったが、その後、BigRIPS真空トラブルが発生し、7/1/4:00 に終了することになった。ユーザの承諾を得てMT完了扱いとした。
- この影響により直後のNP0906-RIBF16 (小林) MTをキャンセル。RILAC単独利用以外のその後の7/19までの実験を2~3日遅らせた。

2. 上期 PAC 進捗状況

- NP-PAC : PACからの答申・両センター長の承認済み。
- ML-PAC: PACからの答申待ち。
- 産業PAC: 6/30 開催。答申書受取り。センター長承認まち。

【議題】

1. 前回議事録

2. NP-PAC 答申を受けて

- プロポーザルのアップデートについて
2011年に供給予定とされたビームを利用可能な実験課題は、プロポーザルのアップデートを受け付けられるようにした方がよいとの提案があった。この提案を受け入れ、詳細を9月配信予定のCall for proposal で案内する。また、本件とは異なるが、ビーム強度が増強されたり、生成断面積が仮定より大きいことが判明した場合、採択MT日数を再評価し直すことも今後検討する。
- 申請課題の評価方式の変更
NP-PACでは申請課題の評価方式を、従来の3段階評価から4段階評価へ変更した (採択課題のA, Bランク付)。公平性を保つため、採択済の課題についても上記評価方法にて次回PAC開催(12月を予定)までに再評価をすべきとの提案がなされた。本件はPACへ依頼することとした。
- 実施した実験課題の追跡調査
PACからの提言に従い、実験終了後1年を経た実験課題については、最初の論文が投稿されるまでの間、進捗状況を、PACに報告させることとした。

3. 次回 第8回 NP-PAC 開催日程について

- 次回第8回NP-PAC開催日をHalo25国際会議(12/6-9, 葉山)の前、12/3-4 (及び5の計3日間の可能性あり) する事とした。
- 次回PACではProposal のupdate を受け付ける予定なので、MLやwebを通じ、予め準備スケジュールを案内する。

4. 下期MT割当てについて

- SHE実験 (RILAC単独利用) を i) 9/4 - 10/22、及び ii) 1/中旬 - 3/31で調整する。
- 東大学生実験(AVF単独利用)を11~1月に4回割当て。なお、10月末に希望のあったビームを用いた

散乱槽のテストについては内容を担当者へ問い合わせた後、再度調整する。

5. MT委員会議事録配信の範囲

- 現在、MT委員会議事録(案)を全実験代表者・所内担当者、及び RIBF関連研究室PIに配信している。これを全RIBFユーザへ速報として配信するようUECより要望があった。MT委員会としては、委員会承認済みの公式議事録が公開されるべきと考え、議事録(案)の配信範囲はこれまで通りとする。UEC委員長を observer として呼んでいるので、速報性が重要と考える場合、自身で作成した非公式メモを配信することを積極的に推奨する。
- 議事録はこれまで紙媒体でのみ保存されていたが、webを整備し電子ファイルとして掲載することを検討。

6. 次回MT委員会の日程

- BigRIPSの真空リーク問題の状況によっては 8/20(金)が臨時MT委員会の可能性あり。
- 次回MT委員会は 9/17(金) 13:30-15:00 で調整。

7. その他

(以上)